



## 第149期救急科を実施しました

[期 間] 令和5年1月19日（木）から3月8日（水）まで  
34日間

[会 場] 埼玉県消防学校  
所属消防本部

[到達目標] 救急医学に関する基礎知識に基づき、応急処置時における的確な  
観察・判断能力、応急処置に必要な専門的スキルを修得し、救急隊  
員として活動できる。

[教育対象] 救急業務に従事させようとする者（日赤救急員の有資格者、初任教  
育救急講習修了者又はこれらと同等以上の知識技能を有する者）

[修了者] 25消防本部（局）96名  
平均年齢25.3歳

**川越地区消防局 田隅 憲泰 消防士長** \* 第1小隊総代

**修了しての感想**

学ぶための全ての環境が整っていて救急漬けになることができた1ヶ月半でした。コロナ禍であっても万全の感染防止対策及びリモートによる授業のおかげで安心して講義や訓練にのぞむことができました。また、数期前から実施されるようになった県内消防本部の現役救急救命士による講義がとても良かったです。病態や知識を現場での経験を交えて私たちに説明していただけるので、すぐに現場で活躍できる実力につながると確信しています。



**後輩へのメッセージ**

解剖生理を事前に勉強して救急科にのぞむと、講義の内容がよりわかりやすくなると思います。実技訓練でも病態を理解していないと、何を観察すればよいのか苦労します。学生同士、年齢の上下がありますが、分け隔てなく意見が交換できることも救急科のよいところなので、仲間との出会いも大切にしてください。

**川口市消防本部 越後 大樹 消防士長** \* 第2小隊総代

**修了しての感想**

救急業務のやりがい、魅力、そして厳しさを学びました。救助一筋で今までもこれからもと考えていましたが、救急科を修了した今の気持ちは救急業務に惹かれるものがありました。

また今回得た知識と技術は、消防、救助、救急のどの隊にいても必要なものだと感じました。

所属に戻っても、日々の積み重ねを怠ることなく救急について追求していく所存です。



**後輩へのメッセージ**

座学は難しいと感じることが多くあります。しかし、聞きもらしたその知識により、助けられた命を逃してしまうかもしれません。とにかく必死になって学んでください。

実技は気持ち新たに楽しんでください。座学で学んだ知識を活用して、状況を判断し、適切な処置を行う。失敗してもいいです。全力で傷病者の命を守ってください。

## 春日部市消防本部 千葉 周 消防士長 \*第1小隊副総代

### 修了しての感想

救急科を修了して一番に伝えたいのは感謝の気持ちです。私たちのために素晴らしい学習環境、豊富な資機材を整えていただきました。また教官の方々は、私たちがミスや間違いを恐れず、のびのびと学習・訓練ができるように優しく丁寧に指導して下さい、積極的に取り組む事ができました。仲間にも恵まれ、真面目で一生懸命な姿勢や難しい事や大変な事にも積極的にチャレンジするメンタル等、様々な良い刺激をいただきました。救急の知識・技術を学ぶだけに留まらず、傷病者への接遇、仲間とのコミュニケーション能力を育む貴重な時間になりました。ありがとうございました。



### 後輩へのメッセージ

救急科で教わる知識・技術が埼玉県民の生命、身体を守る事に繋がります。教官の方々が私たちの事を大切に想って組んで下さったカリキュラムに無駄な事は一切もなく、最高の学習環境と資機材や設備等が整っています。教官や仲間を信じ、全力で学び、訓練に取り組めるように心と体を整え、準備して下さい。一度しかやってくる救急科での大切な時間を無駄にすることなく没頭し尽くしてください。より全力で取り組む事ができた学生が多くプラスを得ることができます。ぜひ積極的に取り組み、学び、経験することを楽しんで下さい。

## 草加八潮消防局 田山 良平 消防副士長 \*第2小隊副総代

### 修了しての感想

熱いハートを持った教官方のもと、丁寧に基本手技をご指導いただき、救急隊員としての基礎を学ぶことができました。特に私が救急科を通して学んだことは、隊員、機関員の役割の重要性です。3名で活動する中で隊長に頼るのではなく、それぞれの所見を持ち寄ることで、多角的に傷病者を観察し、より良い対応ができるのだと感じました。ここで学んだ知識を武器として使えるよう、今後も自己研鑽に励んでいきたいと思えます。



### 後輩へのメッセージ

消防吏員として最低限兼ね備えておかなければならない知識の1つである救急業務に対し、こんなにも真剣に向き合える機会はありません。熱いハートを持った教官方のもと、実際に自身が救急現場に立った時、知識、技術、基本手技、いかに大事で、無意識にでも行うことができる必要性を突き詰めて考えることが出来ました。ここで学んだことは一生の財産になります。埼玉県を支える救急隊員に共になりましょう！！

救急科の教育訓練の様子



傷病者搬出要領



救急車内活動要領



産婦人科救急訓練



屋外訓練



外傷訓練



総合シミュレーション